

社会人のための情報システム誌
— 経営近代化のシステム研究 —

Computer Report 9

2014 No.720

3 はじめの言葉

4 日本自衛の危うさ

企業情報システムの危うさ

田原文夫

クラウドビッツは「戦争は政治の一形態である」と言った。ひとつの政治手法を奪い、代わりになるものを提供することもなく政治をしろと言うのは、根本的な誤りである。しかしシステム部から、ハード/ソフトの選択権を取り上げ、システムを作れ、メンテナンスしろと言われている現実の危うさを改めて思う。

10 情報社会を考える その48

情報社会作りに、どう関与し、どう貢献していくか

編集部

情報社会のトレードオフ/脅威を凌ぐための負荷

自衛隊に水陸機動団というのができる(できた?)らしい。米国で言えば、海兵隊にあたる。旧日本軍で言えば、陸戦隊である。所属はいずれも海軍。

だが水陸機動団は、陸自所属だ。集团的自衛権絡みで、昨年設立を閣議決定した。

ここにオスプレイが配属される。当面は、災害救助用として、だ。政府の苦労も並大抵ではない。

例年に比べると。一足早めな秋雨前線とも思えるような前線停滞で、広島を中心に西日本で未曾有の土砂災害が発生、多くの人命が失われた。自然災害もだが、人命を取り巻く環境は、常に大きな脅威に曝されている。

12 日本再生/世界競争力回復のカギ

何故 M-B I M構築が必要か その43

水田 浩

オープンガバメント OG 9 工業化社会をデジタル化する

社会全体が工業社会から情報社会に移る第一段階ではICT(情報通信技術)が個々の組織の効率化のために、それぞれが独立して導入され、第二段階では工業社会の組織はそのままにして組織間をICTで統合してゆく。社会全体を情報社会に変える準備段階である。第一段階での最初のデジタル化運動が1994年から世界規模で行われたCALS運動であった。そして次に行われたのが電子政府運動であった。

18 連載 アーキテクチャ論 (41)

システミグラムと7人の侍フレームワーク

山本修一郎

国立大学法人 名古屋大学 情報連携統括本部 情報戦略室 教授

システム工学で注目されているフレームワークとして、Martinによる7人の侍フレームワークがある。このフレームワークは、名前から分かるように、昭和29年に公開された黒澤明監督による日本映画「7人の侍」のアナロジーである。野武士の略奪によって苦しむ百姓

たちを7人の侍が救うように、7種類のシステムを適切に考慮することによって、システム開発プロジェクトのリスクを解消して、課題を適切に解決するシステムを開発できるという訳である。

以下では、7人の侍フレームワークをシステムグラムと比較しながら説明しよう。

2 6 IT 新時代とパラダイム・シフト

第58回 訪日外国人観光客2000万人

を目指すには(2)

根本忠明

外国人観光客の政府目標を、現在の1000万人から2000万人、更に3000万人に飛躍させるには、地道な努力が必要である。今回、問題提起した「日本の夜は早い」という問題の解決のためには、住民側と行政側それぞれの取り組みが不可欠といってよい。前者の問題として夜景ブーム、後者の問題として24時間都市問題を取り上げることにしたい。

2 8 続インテリジェンスへのいざない 56

誤りだった従軍慰安婦報道

日本の反省と朝日新聞の罪

今井 武

一端漏えいした情報は、決して元に戻らない。事実に基づかない誤報道も、情報漏えいと同じ。誤報がもたらした社会的影響／変動の完全なる原状回復は不可能である。朝日新聞による従軍慰安婦報道」に関する誤報が招いた事態の深刻さを追ってみた。

3 1 一味違うウェブ検索

第四十七話 広島土砂災害報道の読み方

ぐうのうえぶへい

広島県北部で起きた土砂災害は、8月19日深夜から20日未明にかけての豪雨で土砂崩れが起き、その後連日報道されるほどの大被害となった。一連の報道を見聞きして感じる単純な疑問は、これは天災というよりは人災に近いのではないのかである。災害時の報道は、その性質上、正しく読むことは難しい。今回は、広島土砂災害の報道をどのように読むべきかについて解説する。

3 3 しすてむこらむ

IBM PureApplication Software V2.0 発表

メゾフォルテ

3 5 連載 四字熟語カトレーニング

すぎやまチヒロ

☆☆

オンデマンド出版のご案内

本誌連載中の山本修一郎氏「アーキテクチャ論」が、オンデマンド出版されております。ご活用下さい。

詳しくは、WebCR ホームページをご覧ください。

「アーキテクチャ論」

山本修一郎 著

国立大学法人 名古屋大学 情報連携統括本部 情報戦略室 教授

☆☆

セミナー／講演会の講師紹介

ユーザー会/各種研究会/勉強会における
セミナー/講演会での講師をご紹介します。

クラウドサービス導入前のチェックポイント

クラウドサービスは果たしてTCO削減に寄与するか

レガシーマイグレーションの進め方と留意点

これからの企業情報システム構築のポイント

これからの金融情報システムの課題

役に立つ情報管理の実践と課題

情報セキュリティ監査の受け方／臨み方

リポジトリベースのシステム資源管理

その他 クラウドサービス導入にお悩みの方

など 各種コンサルティングも承ります

ご質問／何でも相談は下記まで
株式会社 日本経営科学研究所
ComputerReport編集部

cr-info@jmsi.co.jp

CR 選書のご案内

CR選書

改訂版
データ・ウェアハウス

定価 本体 2,816円+税 送料(〒300) A5版 289頁 石井義興 著 (株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 目録が必要としているデータ	第七章 情報システム部門しかできないデータ・ウェアハウスのサポート
第二章 データベースとデータ・ウェアハウスの構造と	第八章 データ・ウェアハウスの構築とデータ移行ツール
第三章 OLAP用のデータ・ウェアハウス	第九章 データ・ウェアハウスの利用とエンドユーザーツール
第四章 リレーショナル・モデルとネステッド・リレーショナル・モデル	第十章 データ・ウェアハウスの保守とオートメーション
第五章 正規化の問題点とデータ・ウェアハウス	
第六章 データ・ウェアハウス管理システム	付録

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

実践データ・ウェアハウス OLAP

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A5版 249頁 豊島一政・木村 哲 共著 (株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 これまでのEUCIでできなかったこと	第七章 多次元データベースを作る
第二章 OLAPの定義	第八章 多次元データベースの構造
第三章 Code博士によるOLAPプログラムの評価ツール	第九章 多次元データベースとアプリケーション
第四章 分析処理の歴史	第十章 OLAP/サーバーとフロントエンド
第五章 OLAP(多次元データベース)の形	第十一章 OLAPアプリケーションパッケージ
第六章 データウェアハウスとOLAP	付録

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

消費者行動論

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A4版 181頁 田原文夫 著 (株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 消費者行動論	第四章 消費者意志決定
第二章 消費者行動と心理的決定要素	第五章 消費者行動トピックス
第三章 消費者行動と社会的決定要素	第六章 人間であること(人間行動トピックス)

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

aism 研究活動報告
インターネットセキュリティの落とし穴

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A4版 197頁 一橋大学教授 安田 聖 監修 aism情報セキュリティ・マシントリ研究会 著 (株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 落とし穴を回避するための基礎テクノロジー	第十一章 WORM、KLEZの監視と駆除
第二章 aism情報セキュリティマシントリ研究会の発足	第十二章 メールが通らない
第三章 匿名化された電子署名方式の基本原則	第十三章 生体ネット利用のための情報オーナーの課題
第四章 世界を駆けめぐったCodeRedワーム	第十四章 最近のインターネット防衛戦線心得
第五章 情報システムにおけるリスク	第十五章 ITガバナンスの意識と情報セキュリティ対策
第六章 情報漏洩対策	第十六章 情報セキュリティ対策とセキュリティ教育
第七章 VPN(バーチャルプライベートネットワーク)	第十七章 ケーススタディ「情報セキュリティ教育」
第八章 aismの対応策の事業計画	第十八章 セキュリティポリシー作成にあたってのノウハウ
第九章 情報セキュリティ情報研究会の発足と課題	
第十章 インターネット関連の苦情と不正アクセス	

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

エンタープライズ情報システム設計の基本書！
トップ主導の情報システム革新

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A4版 271頁 高田 顯重 著 (株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 情報システム利用環境の変遷と今日的課題	第五章 情報システム監査
第二章 経営活動と情報システム	第六章 情報システム部門の体制革新
第三章 経営情報システム革新の方向	第七章 情報システムの成果評価
第四章 トップ主導の情報システム開発	第八章 変化対応のシステム作り

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

計量モデルの構造と解法
—オーダーリングとスパース—

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A4版 213頁 安田 聖 著 (株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一部 計量モデル	第二部 大規模モデルの効率的解法
第一章 計量モデルと計量モデルの解法と歴史	第五章 計量モデルの分解方法
第二章 線形計量モデルの解法	第六章 方型式のオーダーリング
第三章 非線形計量モデルの解法	第七章 大規模モデルの解法
第四章 反復法の問題点	第八章 スパース
付録・電子計算機の高速化と計量方法	

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

『いざ！というときの得広報』
すぐに役立つ実践117カ条

定価 本体 1,748円+税 送料(〒300) A5版 228頁 加藤洋一 著 (株) 日本経営科学研究所 発行

目次

■ 広報ビジネスの前提条件	■ 売定文化企業体質
■ ニュースリリースは東方向選定	■ 守るも攻めるも広報が窓口
■ 活字媒体の特性をチェックする	■ あなたならどう対応する「事例編」
■ 記事の材料(ネタ)と発表のテクニック	<付> 記事とうまく付き合うための鉄則(まとめ)

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

ザ・ワールドリンク
がんばれ、国際グローバルサーバー—
IBM社に挑んだ国際情報システム作りの物語

定価 本体 1,848円+税 送料(〒300) A5版 268頁 迫 忠幸・湯浅 誠 共著 (株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 発端	第十一章 日本開発手法の違い
第二章 あるプロジェクト	第十二章 米商チーム崩壊の危機
第三章 新しいシステムへの働き	第十三章 新たな仲間
第四章 WOOIに向けて	第十四章 米商事務所移転と新たな組み
第五章 FJO, IBM競争	第十五章 開発フル稼働とバリエーション
第六章 日本プロジェクトチームの発足	第十六章 ユーザー教育
第七章 プロジェクト開始	第十七章 日本運用体制と本番稼働日
第八章 米商チーム立ち上りの流れ	第十八章 既存システムとのデータ交換の問題
第九章 大きな壁、英語コミュニケーション	第十九章 稼働時の一 直前、稼働、直後の苦しみ
第十章 米商チーム、異なる三人組	第二十章 稼働時の二 安定稼働と北米センター移設

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp